

臥雲義尚さんの話

本日3人目が出た。私より高校卒4つ上の元県職と4つ下の元テレビ朝日の女性

本日、里山辺長寿クラブに呼ばれた。選挙が面白くなったと言われた。

菅谷さんの選挙時、投票率50%切れた。

今度の選挙では、どう言う町になって欲しいのか市民の意見を聞いてゆきたい。最終的に「臥雲 良い」というようになりたい。

4年間ここで根を張った。感ずることがある。地方都市厳しい中で有賀市長：投資、菅谷市長：健康が主で都市ランキングでは高い評価を得て、上手く進んできた。

☆一方、いつまで続くかと言う危機感を持つ。良い状態の内に手を打ち変えるタイミングがある。

商業中心の経済が地盤沈下している。本町・伊勢町では空き店舗が15カ所もある。

今度の選挙事務所は知新堂の石井スポーツ跡地にする。長男が小・中・高・大一緒で貸してくれる。

かなり迫りつつある危機はイオンモール進出による影響。共存共栄と言うことに四つに組まず民間任せでやってきた。

☆松本駅。JRは10年以内に駅舎を建て替える新規投資を計画しておりその中に松本も入って居る他には新潟・青森など。

ホテルメトロポリタンの進出など駅舎で儲けようとしている。JR東日本は投資のチャンスで松本にも目を付けている。

松本の側の意向 どう町づくりしてゆくか考えなければならない。

駅とバスターミナルが離れている。今後バスの重要性増してくる。公設民営のやり方増える。市が住民少ないところへ入ってゆく。バスとの組合せ交通インフラの充実としてピンチをチャンスに変えてゆく良い機会だと捉える。

☆松本城のあり方。10～30年のスパンをかけて大きなエリアに拡げてゆく。市民などの憩いの場として三の丸全体めざす。外堀 中途半端になっている。寄付・公的関与など検討したい。

インバウンド拡大する。この力を経済拡大へつなげる。

有賀市政→菅谷市政は振子の原理に見える。積極→静か。次は静から動へと考える。

☆山雅 J1の終止符打つ 反町監督も退任する。第1章終了。

市政も再スタートと考える。

野球 小～大までやってきた。スポーツは人生 豊にする。

山雅の応援すばらしい。健康の旗、スポーツの旗 立てたい。

マラソンで言えば40km地点を走っている(選挙レース)。今、先頭走っているが、他の候補者がひたひたと迫ってくる。後を振り向くことなくゴールを見据えて、今までしてきた対話の成果、培ってきたメンタルの強さをもって残り3km弱 全力で走りたい。

自己紹介と質疑

注、MT=百瀬TAKE MN=百瀬NAO

MT 松本は歴史的にも全国有数の山岳を控える都市になっている。そこで 登山に関するイベントだけでなく、山岳・登山の裏付けとなる資料を集めて、研究・発表して市民学習を高めて欲しい。

市民も一時松本を離れた人でも、ふるさとは山の町であることの愛着心が持てると思う。

伊 松本城のあり方は長い目で見ることに賛成する。松本のネックは道路事情にある。交通渋滞が酷い。

青 梓川の副支部長をしている。清宮克幸さん(※)とは会社で知っていた。

※ 清宮克幸さん(日本ラグビーフットボール協会副会長)と臥雲さんは12月22日にアルピコプラザホテルで「スポーツと町づくり」の特別対談をした。

藤 ペースメーカーを7年前に入れ、最近ICD(埋込み型除細動器)を入れたが、以前よりもサイズが大きくなっている。

森 ガソリン・プロパンを扱っている。三ガク都+商都の政策をやって欲しい。臥雲さんは第3・第4地区など巷に知られていない。春先に公明党の大会に出たが、この様な所に顔を出した方が良い。

MN 立候補する大月氏は下波田、私は中波田、臥雲さんは上波田。私の兄は地元後援会に入っている。

金 城下町の集まりに出た。今回3人とも深志卒でどうなるか。私事だが放射線治療で2月中旬まで酒が飲めない。

原 臥雲さん4年間耐えた。市民との対話は、もっと地域へのプレゼンやって欲しい。4年間で臥雲さんの集大成になる。

堀のことも市庁舎の動きもおかしい。松本市広域化、他市への便宜も必要とすべき。西へ移せば合庁もある。

JRの計画あるなら国会議員との連携すべきではないか。投票率50%は投票する側に問題あり。

袖 四賀に住んでいる。名古屋から帰って10年になる。四賀から後輩中島市議が出ている。中島市議への働きすべきではないか。

先日新穂高・白川郷へ行ってきた。観光客多いが9割外国人。その中で9割は中国人だった。松本もインバウンド多いので市内の標識は英語・中国語を併記すべき。松本は観光の町、人の配置すべき。

臥 市役所のごとは現状からスリム化、分散、根本見直して資源の最大化をする観点から見るのが最大のポイントと思う。

人口は鎌田・平田・村井方面へシフトしている。交通一体化しなければと思っている。四賀は合併後主体性が失われた。山の魅力を取り入れることも必要。経済・観光・交通・広域化を見た時市役所60年に1度の立て直しに直面している。場所・組織・配置など何を仕事するのか見直しするチャンス

と思う。大切なことだ。

伊 今の場所には支所を置けば良い。大部分の要件は支所で出来るし、マイナンバーカードでコンビニで住民票を取ることも出来る。

原 益を受けている人は賛成できない。中核市になるとは人と保健所を作るだけではない。

袖 ここにある必要はない。

臥 地域づくりセンター長やれる人を育ててゆきたい。

MT アルプスとお城を展望できる場所は必要。

臥 市役所の上階に作ると主張している候補者はいる。

原 駅→バス停の接続通路は地下にせず仙台の様にすれば良い。

臥 長岡は市役所と駅を結んだ。アリーナ・空中広場を作った。

合庁地域 発展少ない。平田西への可能性高い。

原 昔、山雅の競技場、駅に近いイオンの地にという構想があった。

臥 山雅のファンはアルウィンへの思い入れが深い。25000~30000のスタジアムが必要となる。

袖 交通面も考えねばと思う。

原 大越さん、3年先輩と聞いたが。

臥 私は政治報道を目指した。大越さんは田中・竹下(総理)を担当した。大越さんを継ぎ私は村山・橋本(総理)を担当。橋本派の野中市を担当。小渕政権では野中官房長官を担当した。

原 3月まで大会続けるのか。

臥 多い人数が良いとも言えないが時々大きなイベントは必要。

伊 姫路城へ行った。堀に手こぎの観光船を浮かべて、ほぼ1周の観光をやっていた。

臥 松江もやっている。外堀を1周している。堀の内側に市役所がある。

MT 日銀も移転の対象になるか。

原 道州制は。

臥 県単位は要らなくなるのでは。 神奈川は横浜・川崎・相模原が政令指定都市になっているので県の仕事は縮小される。廃県の動きになるか。

長野県を見ると長野は上田・佐久、松本は大北までと諏訪・岡谷と南信まで含むか。 昔の筑摩県と言う考えもあり。

中核市は県から下りてくるもの少ない。保健所がメイン。教育では人事権(私立も含む)は県にある。今の中核市では下りてこない。

菅谷さんは保健所を持ってきたい、健康都市と言うことで。 保健所独自で何をするのか、±数字で見えてこない。地方交付税が少し来るが、やる仕事は多い。

袖 市は保育園が多い。パート職員多く専任少ない。乳幼児から入園してくるのをパートで面倒見てる。

原 無償化で幼稚園から保育園に移動すると聞いている。

袖 四賀では保育園も合併している。保育士数人は必要。

臥 四賀の人口6千→4千になっている。地域拠点縮小になる。政策決定できるか分水嶺に来ている。

Iターン者もいる。

袖 Iターン者は、その人だけで終わってしまう。

臥 奈川ではターニングポイント過ぎている。1000人→650人で来年の小学校新入生ゼロ。中学生新入生5人で内1人男で稲核への転校と言う。ギリギリの地域。

森 東京まで遠い。(時間かかる) 叔父が上田→松本→高山→日本海へのルートを考えてことがある。

臥 高速道路を上田へつなげて欲しい。

原 安曇野→日本海ルートは効果薄い。

原 元日銀支店長が提案した上田→松本→空港ルートは松本は乗らなかった。

臥 ルートづくりは平国会議員では実現無理。松本空港にしても滑走路の問題、アクセスが悪い。鉄道と言う考えもあり。

新潟にいたことある。空港までつなげることにしなかったが、新規駅舎計画でつなげる動きもある。

平田→松本空港を鉄道で結ぶ考え方もある。

袖 なぜ東京へと思うのか。このままで特長を出せば良い。

臥 長野は地盤沈下している。松本は陸の孤島と言えるが2時間半でアクセスできる。松本からのアクセス・交通インフラは高いと思う。アジアへ直結できる魅力づくりで考える。

森 企業が東京に集中なので行くことが多い。ビジネスルートで考えることが必要。

原 長野へ行くと人々がゆったり歩いている。松本は中町・縄手が人々に喜ばれている。

臥 本町・伊勢町は人通り少ない。パルコもテナントが減っている。松本のシンボルだったのに。オザワフェスも本人が活動できなくなっている。心配して指摘した人が2人いた(神沢氏・草間氏)が市が聞かないので今は坪田氏がやっている。ランキング高いので今が変わるチャンス。

原 中心地沈下はイオンが原因か。

臥 通販が盛んになっている。飲食は元気が良い。長野から見て松本に勝てないのは食と山雅だと言う。食の歴史は長い。長野は精進料理の発達、松本は大名料理で種類が多い。東京から見てチェーン店が少なく、個人店が頑張っている。

森 交通渋滞は酷い。東西の渋滞は川、線路、国道、それと南松の踏切。

原 長くやっていると弊害が出ている。和合時代は職員と接合していた。有賀時代はそれを直した。菅谷(坪田)時代はゆるみが出ている。

臥 政治記者をやっていたので政治の仕組みは分かる。将来展望でなくて行き当たりばったりでやると、

人情やしらがらみが絡む。これが続くと考えずに従うことになる。

森 市役所建て替えの件、市会で決めている。

袖 菅谷市長は坪田氏に任せている。

森 健康以外分かっていないので坪田氏任せである。

臥 坪田氏は第2の菅谷が欲しい(H氏)。菅谷市長は県の窓口が欲しい(O氏)ので臥雲では困る。

原 当選後の参謀は必要。権力は悪、力は正義と言われている。

臥 絶対権力は必ず腐敗する。国政では任期決めることが必要。中国・ロシアは絶対権力を維持。日本もおかしくなっている。

地方自治では任期ない。2期8年はいましめになる。その間に結果を出し、後継者を決める。それが出来なかったら、やり遂げたとは言えない。

百瀬TAKE記